

令和元年 10 月 11 日

フランス・パリにおける本県伝統工芸品の展示販売会開催等にか かかる参加事業者の募集について

県では、本県の優れた伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、来年1月にフランス・パリにおいて、昨年度に引き続き、①セレクトショップでのポップアップストア開催、及び②(一財)自治体国際化協会パリ事務所主催の第7回「伝統と先端と～日本の底力～」へのブース出展を行います。

このたび、その出展事業者(共通)を募集いたしますので、ご案内いたします。

1 開催日・場所 等

①セレクトショップでのポップアップストア

期日： 令和2年1月21日(火)～2月3日(月)

場所： maison wa (8 bis rue villedo 75001 Paris FRANCE)

※ 日本産品を取り扱うセレクトショップ(日本人経営)

②(一財)自治体国際化協会パリ事務所主催の第7回「伝統と先端と～日本の底力～」

期日： 令和2年1月21日(火)～2月1日(土) ※展示販売、実演

場所： パリ日本文化会館(101 bis, quai Branly 75740 Paris Cedex 15, FRANCE)

2 募集内容

定員： 10社程度

参加料： 42,000円程度(参加企業数によって増減あり)

※上記費用は、会場「maison wa」の使用料の一部をご負担頂くものです。(この他に別途、商品の国内外輸送費、付加価値税などが各事業者様の実費負担となります。)

※会期中に担当者様に会場へお越しいただき、商品説明をしていただくことが可能です。(※ただし、旅費(往復航空費、宿泊費等)等、個別の費用は各事業者様の実費負担)

※販売手数料はございませんので、期間中の売上は全て日本円でお支払いいたします。

参加締切： 令和元年11月8日(金)

申込先： 株式会社 Discover Japan (本事業委託先) Tel : 03-6812-9792

(2名に) E-mail : biz@discover-japan.co.jp

富山県 商工労働部 経営支援課 地域産業係 Tel : 076-444-3249

E-mail : akeieishien@pref.toyama.lg.jp

フランス・パリでの展示販売参加事業者の募集について

富山県では、富山県の優れた伝統工芸品の海外への販路開拓を支援するため、フランス・パリで日本製品を取扱う「maison wa」等において、富山県ブースを設けて、展示販売を行います。海外への販路開拓にご興味ある方は、是非お申し込みください。

1 開催期間：令和2年1月21日（火）～2月3日（月）
併せて、（一財）自治体国際化協会パリ事務所主催の第7回「伝統と先端と～日本の底力～」(令和2年1月21日（火）～2月1日（土）)へも出展し、展示販売を行います。

2 場 所：①maison wa（フランス・パリ）
8 bis rue villedo 75001 Paris FRANCE
②パリ日本文化会館（フランス・パリ）（「伝統と先端と～日本の底力～」の会場）
101 bis, quai Branly 75740 Paris Cedex 15, FRANCE

3 応募要件：富山県内に本社、営業所、工場等事業所がある企業で、自社製品の雑貨・家庭用品等についてヨーロッパ等への販路開拓を実施もしくは検討している事業者及び団体。

4 募集定員：10社程度

5 費 用：参加費42,000円程度（参加企業数によって増減あり）

※上記費用は、「maison wa」の会場使用料の一部をご負担頂くものです。この他に別途、商品の国内外輸送費、付加価値税などについて、各事業者様の実費負担となります。

※会期中に担当者様に会場へお越しいただき商品説明をしていただくことが可能です。ただし、旅費（往復航空費、宿泊費等）等、個別の費用に関しては、各事業者様の実費負担となります。

※販売手数料はございませんので、期間中の売上は全て日本円でお支払いいたします。

6 展示イメージ：



7 留意事項：

- (1) 出展者については、富山県及び富山県が本事業を委託する運営会社（以下、「運営会社」という）で調整のうえ決定いたします。出展決定となった場合、運営会社より決定の連絡を行います。
- (2) 出展者は事業終了後に運営会社から発送される請求書に従い、期日までに指定銀行口座に出展料を支払わなければなりません。なお、振込手数料は出展者の負担となります。
- (3) ブース全体の統一性を保つため、出展商品については、運営会社からのヒアリングを行う場合がございます。なお、展示方法に関しては、主催者である富山県が決定するため、必ずしもご希望に沿えない可能性があることを、予めご了承ください。
- (4) 展示スペースに限りがあるため、希望商品のサイズによっては点数を調整させていただきます。※1社あたり、3～4商品が目安となります。また、パリ日本文化会館は展示スペースが限られるため、出展商品はこちらで調整のうえ、決定させていただきます。

(5) 採択後のキャンセルは原則として全額負担となります。

8 応募方法：

参加希望者は、参加申込書に必須事項を記入の上、下記提出書類一式を富山県及び運営会社（11 申込み・問合せを参照）までデータにてご提出ください。

- (1) 参加申込書
- (2) 企業概要のわかるもの（自社パンフレット等）
- (3) 県税に未納がないことが証明できる書類

9 申込締切日：令和元年11月8日（金）17時

10 申込みから出展までの流れ：

～11月8日（金）	申込締切日
～11月29日（金）（予定）	採択通知、輸送手続き調整
～12月20日（金）（予定）	国内指定場所への商品輸送期限
令和2年1月21日（火）～ 2月3日（月）	会期 （併せて、（一財）自治体国際化協会パリ事務所主催の第7回「伝統と先端と～日本の底力～」(令和2年1月21日（火）～2月1日（土））へ出展し、展示販売を行います（パリ日本文化会館は展示スペースが限られるため、出展商品はこちらで調整のうえ決定させていただきます）。
2月中旬～3月上旬	請求書送付、入金締切

※スケジュールは採択通知の際に改めて詳細をお伝えいたします。

11 申込み・問合せ先：

〒930-8501 富山県富山市新総曲輪 1-7
富山県 商工労働部 経営支援課 地域産業係 担当/吉田
TEL 076-444-3249 FAX 076-444-4402
MAIL akeieishien@pref.toyama.lg.jp

本事業委託先

〒108-0073 東京都港区三田 3-4-18 二葉ビル 11F
株式会社ディスカバー・ジャパン 担当/小穴
TEL 03-6812-9792 FAX 03-6812-9790
MAIL biz@discover-japan.co.jp

フランス・パリでの展示販売事業にかかる参加申込書

会社名		担当者名	
電話		FAX	
住所			
HP		E-mail	
海外取引実績	有 ・ 無	パリ渡航 参加予定	有 ・ 無
出品予定商品の 概要	別紙の様式1及び2に記載願います。		

【提出先】 ※提出期限：令和元年11月8日（金）

下記2名までメールにて送信してください。

①富山県商工労働部経営支援課 担当：吉田

TEL：076-444-3249 MAIL：akeieishien@pref.toyama.lg.jp

②（本事業委託先）株式会社ディスカバー・ジャパン 担当 小穴

TEL：03-6812-9792 MAIL：biz@discover-japan.co.jp

現時点の希望数量を記入。
※出展者が決まりましたら県と運営会社で調整します。

現時点の希望数量を記入。
※出展者が決まりましたら県と運営会社で調整します。

○出展品にかかる詳細事項について

製品名 (日本語名/英語名 <フランス語でも可>)※1	写真(500KB以下)	素材	大きさ(W×D×H)	税抜単価(円)	用途 (ひと言で説明)	カテゴリ	展示数量 ※2	販売数量 ※2	合計(円) 【自動計算】	販売希望単価 (ユーロ、税抜) ※3	PRポイント (自由記入)
例 ティータオル/Natural Torchon		綿、ウール	20cm × 25cm × 0.5cm	900	台所用布巾	食	2	5	6,300	14	
1									0		
2									0		
3									0		
4									0		

出展品等にかかる説明について

出展品ごとに説明文を記載願います。

<記載例>

<郷原漆器>

△△市蒜山で生まれた郷原漆器は 1390 年ごろ作り始められた。生木を轆轤を使って削る工程は日本国内では郷原漆器だけの作り方であり、年輪の中心が器の中心にあるのも特徴の一つである。木地挽きも漆塗りもすべて手作業であり、二つとして同じ物が存在しない。

<蒜山がま細工>

△△市蒜山で生まれた蒜山がま細工は 1350 年頃、湿地に自生する「がま」で荷物を運ぶための背負いかごを作ったのが始まりである。軽量で防水性、保湿性、耐久性に優れ、雪の多い蒜山地域では雪ぐつや雨よけの肩掛け（蓑）といった生活必需品が作られてきた。シナノキの木の皮の繊維で小縄（糸）を縋い、乾燥したがまを手作業で編んでいる。

<勝山竹細工>

勝山竹細工は自然の青竹の美しさを生かして編み上げるのが伝統で、農作物や穀物など多くの物を運ぶために大きめのカゴを作っていたが、今は生活の変化によりパン等を入れる小さめのカゴも作っている。材料となる竹を割り、同じ幅、同じ厚さにすることで、きれいな網目ができ、乾燥によるひび割れや水濡れによる腐食がほとんど無く、丈夫でしなやかな竹細工は使い込むほど年月とともに飴色に色づき、艶が増してくる。